

島根県の地震

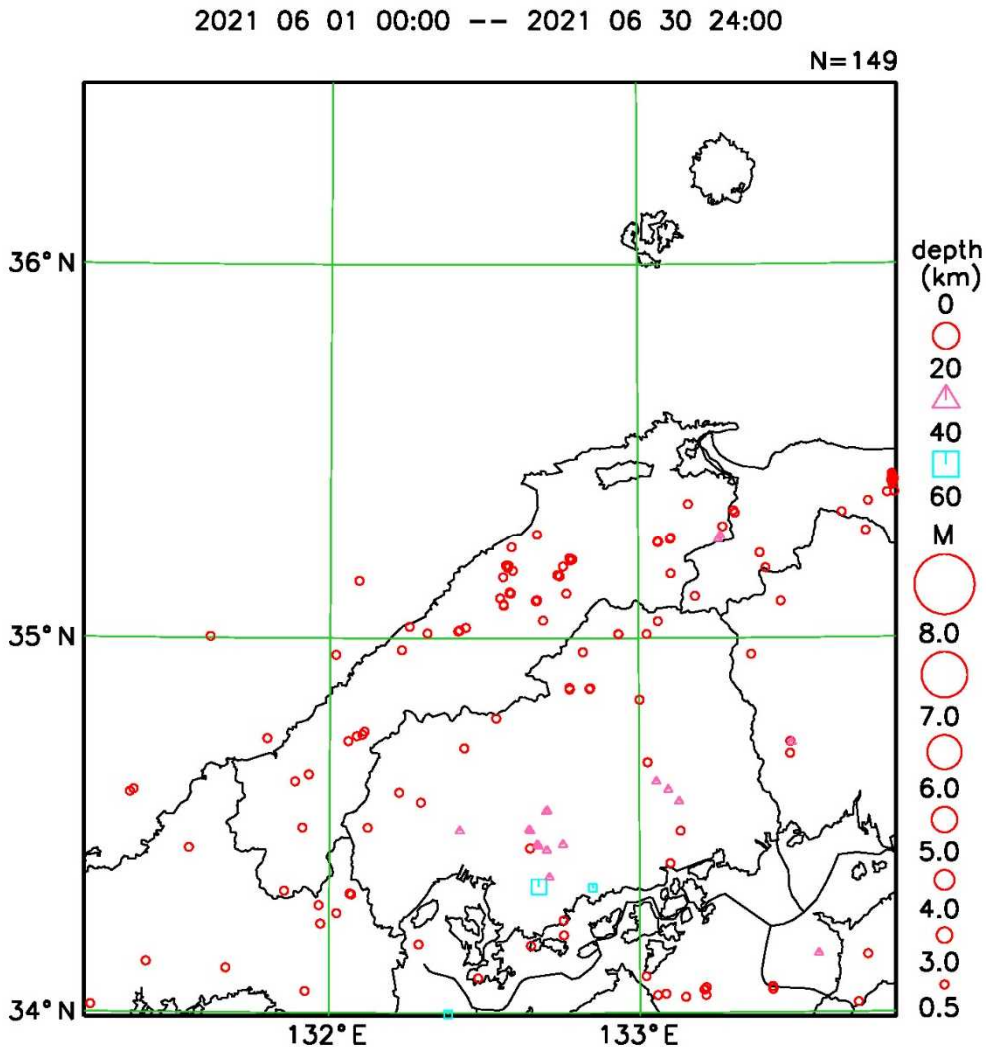
令和3（2021）年6月

・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値です。後日、再調査のうえ修正されることがあります。

・本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用しています。

松江地方気象台

島根県およびその周辺地域の地震活動 2021年6月1日～30日



[概況]

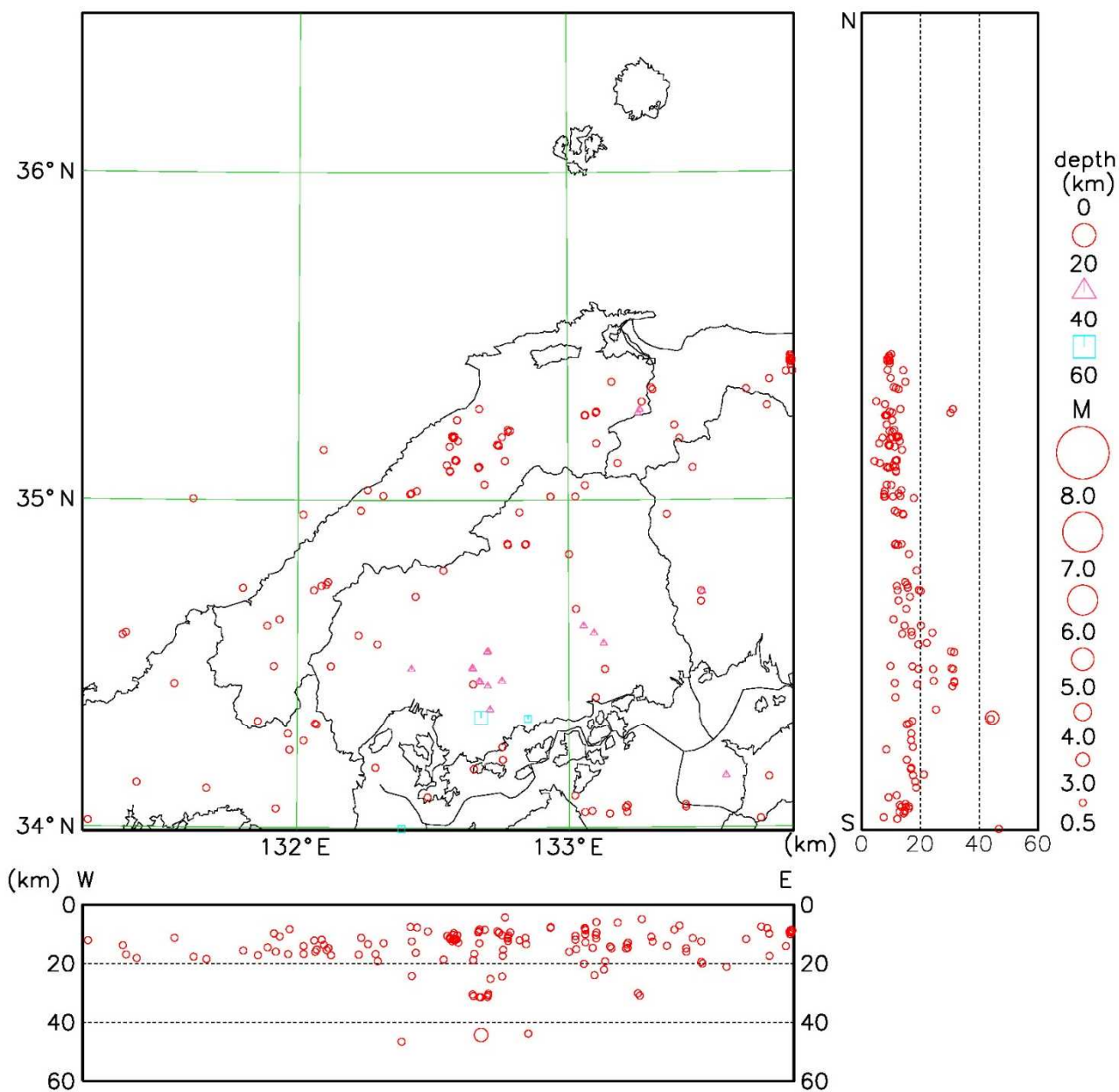
今期間、M0.5以上を観測した地震は149回（5月は231回）でした。

また、島根県内で震度1以上を観測した地震は、1回でした。

19日07時39分 愛媛県南予の地震（深さ42km、M4.7：地図範囲外）により、益田市・川本町で震度2を観測しました。また、愛媛県宇和島市で震度4を観測したほか、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度3～1を観測しました。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

[断面図]

2021 06 01 00:00 -- 2021 06 30 24:00



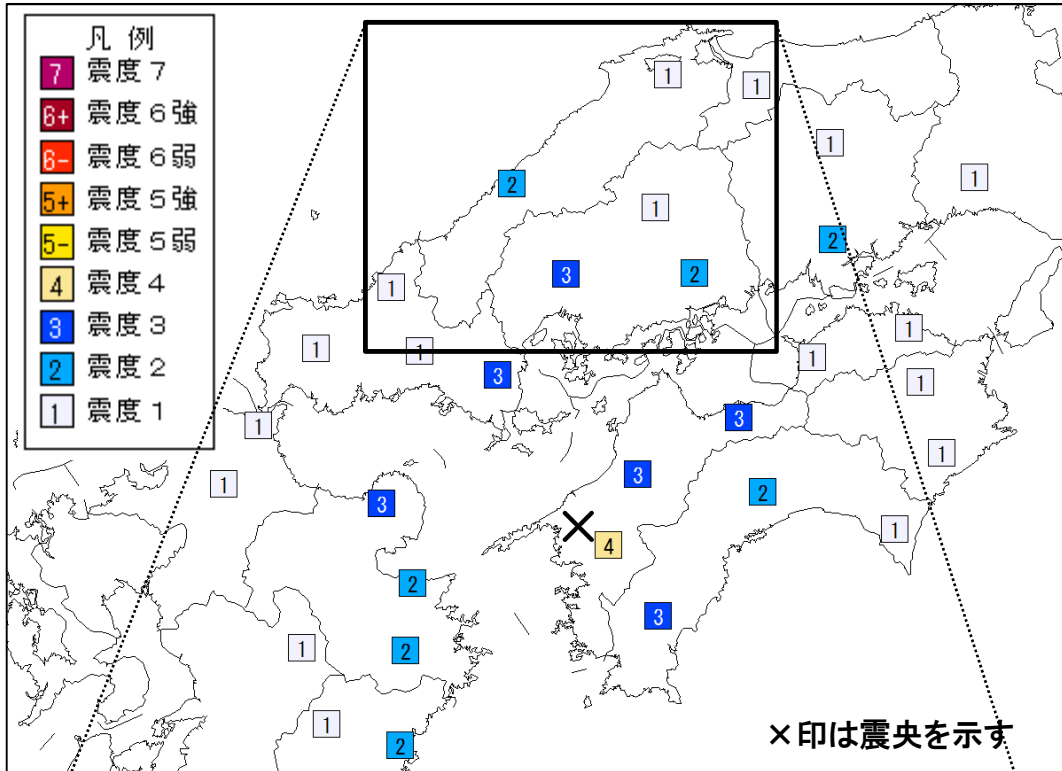
6月の島根県内の地震表（震度1以上）

発震日（年月日時分） 各地の震度（島根県内のみ掲載）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2021年06月19日07時39分	愛媛県南予	33° 27.6 ' N	132° 30.8' E	42km	M4.7
----- 地点震度 -----					
島根県	震度 2：益田市常盤町*，川本町川本*				
	震度 1：安来市伯太町東母里*，雲南市掛合町掛合*，雲南市三刀屋町三刀屋* 浜田市殿町*，浜田市三隅町三隅*，益田市美都町都茂*，大田市仁摩町仁万* 江津市桜江町川戸*，島根美郷町都賀本郷*，邑南町淀原*，邑南町下口羽* 邑南町瑞穂支所*，吉賀町六日市*，吉賀町柿木村柿木*				

・地点名の後に*がついている地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

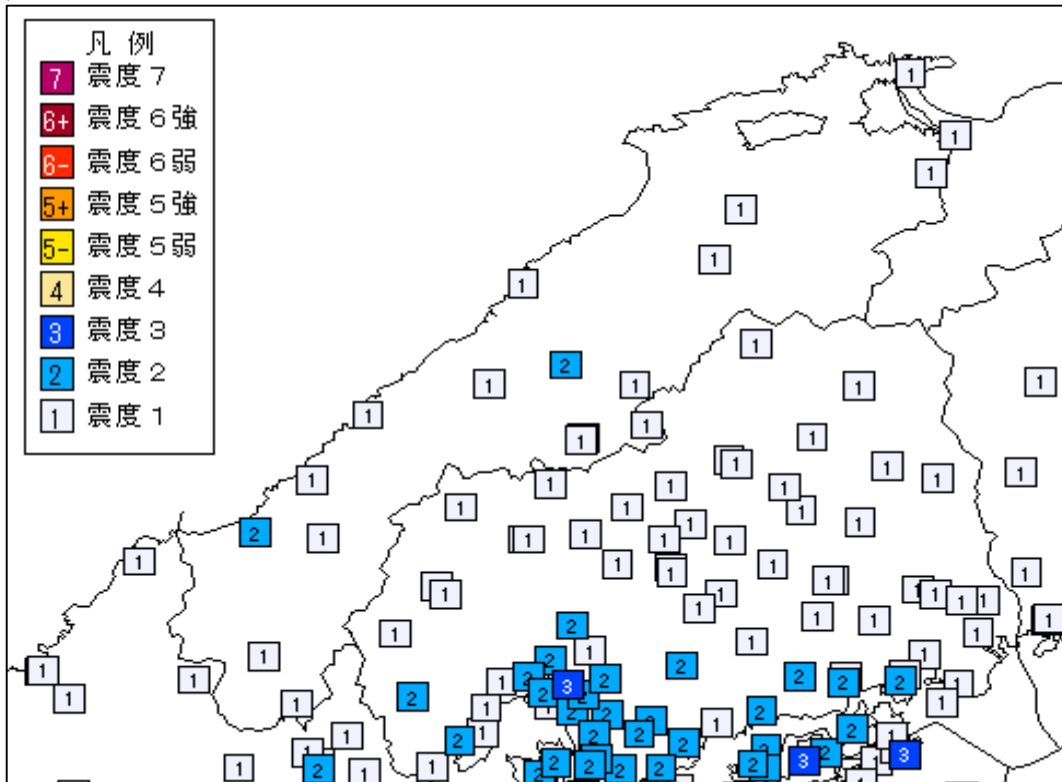
【地域震度分布図】

2021年6月19日07時39分 愛媛県南予



【観測点震度分布図】

地域震度分布図枠内拡大図



地震に備えて家具の固定を

今年3月に地震調査研究推進本部（地震本部）から全国地震動予測地図2020年版が公表されました。震度6弱の地震が発生する確率などが示されています。





https://www.jishin.go.jp/evaluation/seismic_hazard_map/shm_report/shm_report_2020/

世界的に、日本は地震の多い国であり、確率の高い低いはありますが、「0」である場所はありません。日頃から地震に関心を持って、家具の固定や、避難所・避難経路の確認等、できることから備えを進めることが重要です。

今回は、震度と被害について「家具」に着目し紹介します。

下の表は、気象庁のリーフレット「その震度 どんなゆれ？」*から、イラストや家具についての表現を抜き出し整理してみたものです。

*<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/kaikyuhyo/kaikyuhyo.pdf>

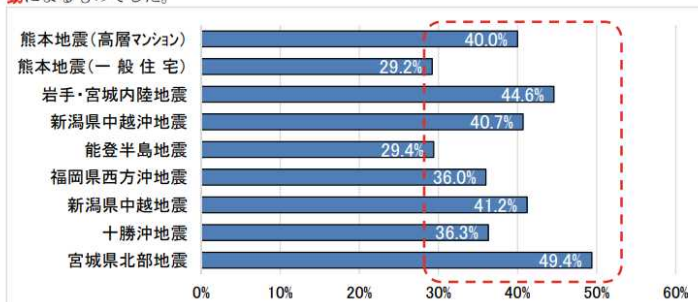
 <p>5弱</p>	 <p>5強</p>	 <p>6弱</p> <p>耐震性が高い 耐震性が低い</p>	 <p>6強</p> <p>耐震性が高い 耐震性が低い</p>
		2001年芸予地震	2000年鳥取県西部地震
不安定な家具が	固定していない家具		
倒れる	移動する	倒れる	
ことがある		大半が移動し、倒れるものがある	ほとんどが移動し、倒れるものが多くなる

なぜ家具類の転倒・落下・移動防止対策が必要なの？

● 家具類の転倒・落下・移動による被害

○ ケガ

近年発生した地震でケガをした原因を調べると、**約30～50%の人が、家具類の転倒・落下・移動によるもの**でした。



近年発生した地震における家具類の転倒・落下・移動が原因のけがの割合

東京消防庁「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」（左図抜粋）によると、地震でケガをした人の内、30～50%の原因が家具類だったそうです。
 ・・ということは、家具の固定をしておけば、ケガの被害を減らすことができますね。

参考URL:東京消防庁

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hp-bousaika/kaguten/handbook/>